

4) 調査受託業務

幸喜 淳¹・久場まゆみ¹・宮城奈々¹・佐久本 純¹・田丸尚美¹・鶴田 大¹

キーワード：沖縄県立博物館・美術館

1. はじめに

琉球文化財研究室では、沖縄県立博物館・美術館より文化財の修理・復元、普及・保存・継承に関する1件の業務を受託した。

2. 沖縄県立博物館・美術館：「琉球王国文化遺産集積・再興事業基本設計委託業務」

1) 業務内容

本業務は沖縄県立博物館・美術館より、当財団と株式会社国建の共同企業体で業務を受託した。

本業務は、近代化や戦争などによって亡失、もしくは琉球王国時代から継承されてきた有形・無形の文化遺産に関わる学術的知見や科学分析等の情報集積することを目的としている。加えて、これら文化遺産の8つの手わざ（絵画・木彫・石彫・漆芸・陶芸・染織・金工・楽器）を現代の最高水準の手わざで復元を行う。さらに王国文化の発信によりブランディングを確立し沖縄県の文化観光資源に資することを目的としている。

令和4年度は第2期事業として、新たに35件の資料についての復元を行うため、基本設計報告書作成を行った。担当者は木彫・田丸尚美、染織・宮城奈々、陶芸・鶴田 大、楽器・佐久本 純、発信・久場まゆみ（以上総合研究センター琉球文化財研究室所属）、絵画・輝 広志、（以上首里城公園管理部事業課 広報企画展示係所属）が主に行った。

3. 外部評価委員会コメント

- ・「県博別途受託琉球王国文化遺産集積・再興事業」：琉球の美術工芸研究の礎となるべく事業である。製作技術や科学調査などによる情報の蓄積は重要で、研究の進展に大いに貢献する事業である。（宮里顧問：沖縄県文化財保護審議会委員）

¹琉球文化財研究室